

【翻刻】

拝啓陳は私儀出立之際、

御見送被下難有御礼申上候、

私シ、其夜大阪江ノ子島出雲

屋へ一宿致シ、早廿六日大阪梅田

汽車ニテ神戸迄行、兵庫港より

反対船ニ乗込ニ、賃金壹円九拾

五錢、其外ハシケ十七錢入り

誠ニ困難ニ合ヒ、廿八日午後

三時ニテ東京品川工安着致、

其夜午後四時三十分、汽車ニ

乗込ニ横浜萬治方へ七時

三十分ニ着到候間、乗込斯

限ハ三十一日午前十時ニ乗込ニ

出帆十一時ニ相定マリ候間、

此段御安心可被下候、猶渡米

安着次第、早々書面御送り

可申候、猶留守中宜敷

御頼申上候、

猶本文之通り、拙者方及ヒ浅吉

方へも宜敷御伝言可被下候也、

岩崎富三郎殿

三月廿九日

岩崎甚四郎